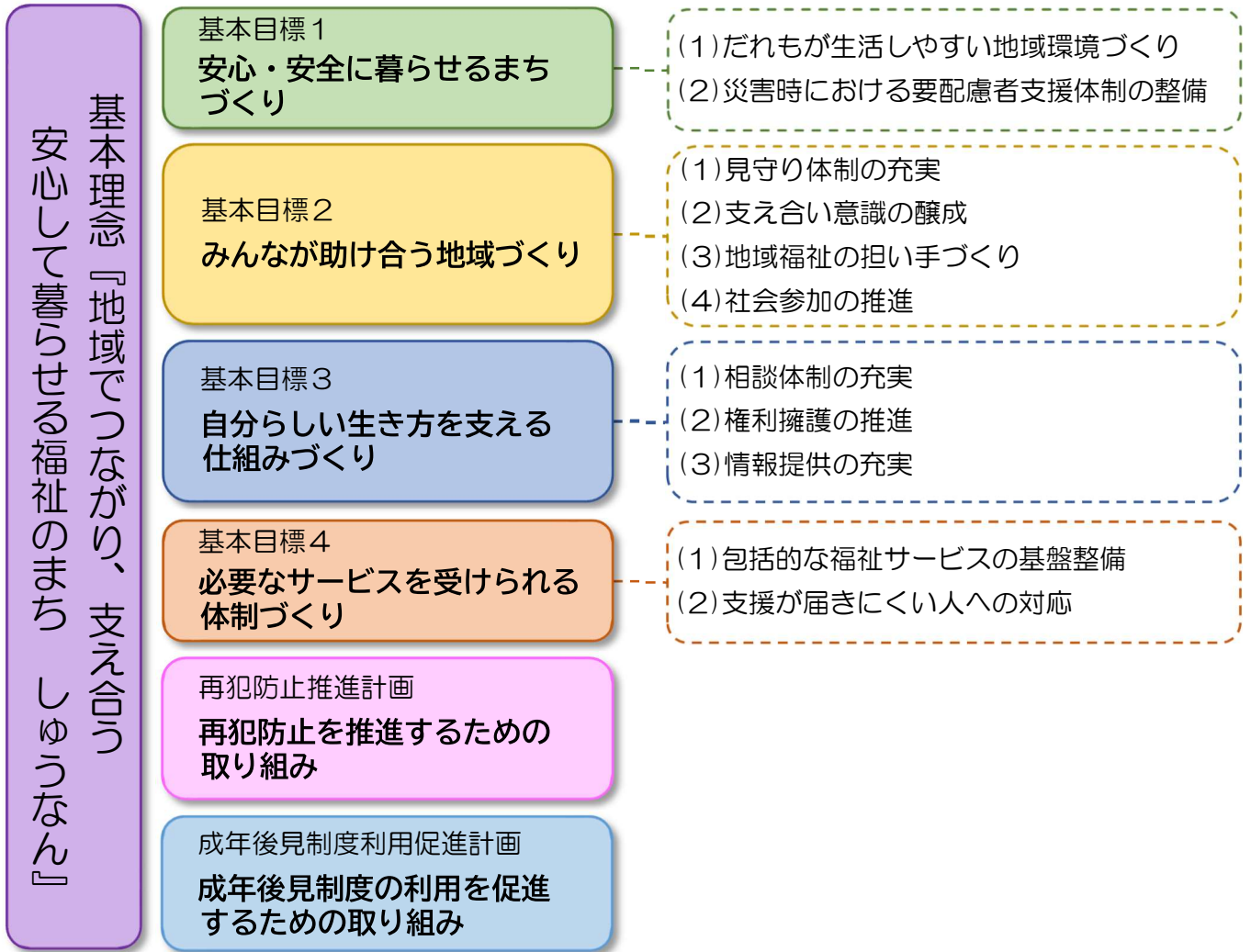


第4次周南市地域福祉計画・周南市地域福祉活動計画
取り組みの実施状況について

令和5年2月

計画の体系



計画の評価指標

	評価指標	実績値 (R1 年度)	実績値 (R3 年度)	実績値 (R4 年度見込)	目標値 (R7 年度)
1-(2) 災害時における要配慮者支援体制の整備	率先避難促進事業に取り組む自主防災組織(数)	2	10	11	35
2-(1) 見守り体制の整備	認知症サポーター養成数(人) ※累計	14,347	14,935	15,466	19,000
2-(2) 支え合い意識の醸成	週1回「いきいき百歳体操」に取り組む「住民運営の通いの場」の数(カ所数)	114	135	133	145
2-(4) 社会参加の推進	障害者就労施設等からの物品・役務等の調達額(市業務のみ・万円) ※単年度	2,597	3,020	4,097	2,850
3-(2) 権利擁護の推進	もやいネット支援事業者研修会の開催(受講者数) ※累計	40	231 (文書開催含む)	開催予定	250
4-(1) 包括的な福祉サービスの基本整備	第2層協議体設置数(カ所数)	11	19	20	22

※計画の評価指標は、本文中「★」で再掲

<地域福祉計画・地域福祉活動計画>

【基本目標 1】 安心・安全に暮らせるまちづくり

(1) 誰もが生活しやすい地域環境づくり

【施策の方向性】 見守り体制の中で、だれもが自分らしく安心して生活し、活躍できる地域環境の整備を目指します。

市の実施内容

◆コンパクト・プラス・ネットワークの構築 都市政策課・公共交通対策課

・自然災害の危険性の低い区域における居住の誘導や、立地適正化計画の居住誘導区域内で行う防災対策、安全確保策を定める防災指針の検討を実施。

・利便性の高い交通ネットワークの構築。

【令和3年度】 長穂・須々万間を結ぶコミュニティ交通の運行を開始。

須々万・八代地区間を結ぶコミュニティ交通の実証運行を実施。

【令和4年度】 須々万・八代地区間を結ぶコミュニティ交通の運行を開始。

大道理地区のコミュニティ交通の運行日を追加。

◆子どもの安全を守る取り組み こども支援課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
不審者や野犬、クマ等出没情報の保護者向け一斉配信 (回数)	47	65	40

◆悪質商法やうそ電話詐欺被害防止 生活安全課・高齢者支援課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
うそ電話詐欺などの発生情報の市民向け一斉配信 (回数)	2	11	8
しゅうなん出前トークでの消費生活に関する講座 (回数)	55	13	21

【令和4年度】 介護認定審査会の結果通知や高額介護サービス費の通知等に、うそ電話詐欺注意喚起シールを貼って対象者へ送付。

社会福祉協議会の実施内容

◇福祉体験の場の提供

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
福祉体験学習の実施 小学校 (校数/参加者数)	22 / 1150	17 / 765	11 / 701
中学校 (校数/参加者数)	6 / 386	3 / 87	4 / 363
高等学校 (校数/参加者数)	—	1 / 20	1 / 19
企業・団体等 (団体数/参加者数)	3 / 49	1 / 11	3 / 49

・福祉体験学習の場で、車いす、アイマスク等の福祉教育物品の貸出について周知。

◇就労支援

【令和3年度】 貸付事業等も含め、ハローワーク、関係機関と連携し、就労、就労体験の伴走型支援の実施。(就労準備支援事業対象者：4人)

【令和4年度】 生活困窮・ひきこもり状態の方の支援のために、協力事業所を新規開拓。

就労体験協力事業所 (令和4年度)

福祉施設等	15事業所	市管理施設	1ヶ所	民間事業所	1事業所
-------	-------	-------	-----	-------	------

(2) 災害時における要配慮者支援体制の整備

【施策の方向性】 災害時に迅速に避難できるよう、平常時から福祉的支援が必要な人を見守り・支援する地域のつながりを醸成します。

市の実施内容

◆避難行動要支援者名簿の効果的な活用 地域福祉課・防災危機管理課

- ・各年度において避難行動要支援者名簿を整備し、避難行動要支援者の情報を把握。
- ・希望する地区防災組織には同名簿を提供し、個別避難計画の作成に係る情報を交換。

◆災害時の初動対応の強化 防災危機管理課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
★率先避難促進事業に取り組む自主防災組織（数）	2	10	11

【令和4年度】 個別避難計画の作成に、地区防災組織だけでなく、包括支援センターなどの福祉関係者を交えることで、個別避難計画の作成を更に推進。

社会福祉協議会の実施内容

◇災害に備える活動の支援と人材養成

【令和3年度】 災害ボランティアセンター行動マニュアルの研修会を行い、社会福祉協議会職員の役割について確認。

【令和4年度】 災害ボランティアセンター開設時に必要な資機材について定期的な点検を実施し、職員の役割について再確認。

※令和元年度に、災害ボランティアセンター行動マニュアル（改訂版）を策定。

※周南3市の社会福祉協議会で毎年実施している「災害ボランティア講座」は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

◇安心して生活できる地域づくり

【令和4年度】 公益財団法人周南青年会議所、ライオンズクラブ国際協会336D地区5R-1Zと災害時における協定を締結。

【基本目標 2】 みんなが助け合う地域づくり

(1) 見守り体制の充実

〔施策の方向性〕 地域で孤立する人や見守りを必要とする人を地域全体で見守る体制の充実を目指します。

市の実施内容

◆もやいネット支援事業者の拡充 地域福祉課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
見守り協定締結事業者（数）	68	69	73

◆「徘徊SOSネットワーク」の啓発 地域福祉課

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
登録者（実数）	81	105	114
行方不明者情報の発信（回数）	20	10	7

・市ホームページ、チラシ配布、出前講座を通して、見守り体制の啓発。

◆認知症サポーター養成講座 地域福祉課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
認知症サポーター養成講座の開催（回数）	33	17	21
★認知症サポーターの養成数（累計人数）	14,347	14,935	15,466

◆「子ども・子育て相談センター」の情報集約 あんしん子育て室

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
要保護児童対策地域協議会代表者会議の実施（回数）	1	1	1
“ 実務者会議の実施（回数）	3	4	3
“ 個別ケース検討会議の実施（回数）	34	13	10

社会福祉協議会の実施内容

◇「もやいネット地区ステーション」事業

・電話による安否確認や相談を続け、緩やかな見守りを継続。

◇福祉員活動の普及・啓発

〔令和3年度〕 電気の点灯状況や郵便物等の確認をすることで、緩やかな見守りを継続。

〔令和4年度〕 地区社協ごとに行う研修会を通じ、福祉員活動をはじめ、見守り活動などに関する出前講座を実施。

内容	令和元年度	令和3年度
福祉員（人数）	1,379	1,360
研修会の実施（回数）	37	29
研修会出席者（延べ人数）	989	1,053

◇見守り活動の充実

〔令和4年度〕 地域福祉コーディネーターが地区社協、民生委員・児童委員、福祉員の会議等に出席するなどして、地域の見守り活動がより一層強化されるよう顔の見える関係づくりを実施。

内容	令和元年度	令和3年度
訪問対象者（人数）	537	453
訪問数（延べ回数）	7,923	5,948
友愛訪問活動対象者（人数）※福祉員等が中心となって行う活動	5,966	5,885

(2) 支え合い意識の醸成

【施策の方向性】 地域のつながりをつくり、深める機会や場の提供と併せて、「支え合い」「助け合い」による地域福祉を推進します。

市の実施内容

◆実践的な地域活動の啓発 地域づくり推進課

- ・地域の取り組みをHP等で発信するとともに、地域の課題解決等に向けた「地域の夢プラン」の策定や実現に向けた支援。

◆地域で支え合い、生活を支える仕組みづくり 地域福祉課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
★週1回「いきいき百歳体操」に取り組む「住民運営の通いの場」の数（箇所数）	114	135	133
「住民運営の通いの場」に専門職等による定期訪問の実施（単年度・回数）	194	162	185

◆共生の居場所確保に向けた支援 次世代政策課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
子ども食堂の数（県登録団体数）※周南市内のみ	5	12	20
子ども食堂への補助（団体数）	0	3	9

〔令和4年度〕 子ども食堂の事業費補助を、事業開始初年度のみから2年度以降も継続補助ができるように拡充。

◆地域福祉活動の支援 人権推進課

- ・隣保館等で、地域住民の生活課題に応じた相談業務、教育、研修、啓発活動を実施。また、啓発、教養文化活動により、周辺住民との参加交流を促進。

社会福祉協議会の実施内容

◇生活支援体制整備事業

〔令和3年度〕 市地域福祉課と協働で取り組み、第2層協議体の話し合いにより住民同士の支え合い活動や、通いの場（いきいき百歳体操等）など、地域の実情に応じた活動を展開。

◇住民同士の支え合い活動の支援

〔令和4年度〕 こども食堂（地域食堂）について、地域担当職員を中心に活動を支援。

◇共同募金運動を通じた福祉教育の推進

〔令和3年度〕 赤い羽根共同募金の配分金について、地域福祉活動への配分を増額し、より柔軟な活動が行えるよう支援。

◇「ふれあい・いきいきサロン」の推進

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
ふれあい・いきいきサロンの数（箇所数）	186	188	187

〔令和4年度〕 地域担当職員を中心に活動を支援。

(3) 地域福祉の担い手づくり

【施策の方向性】 地域がつながり、「支え合い」「助け合い」の中で解決できるよう、人材の育成や担い手としての資質の向上を目指します。

市の実施内容

◆地域課題に係る担い手の資質向上と、リーダー育成の支援 地域福祉課

[令和3年度] 地域の中での支え合い活動を紹介するリーフレットを作成し、民生委員・児童委員や福祉員等の地域の担い手へ配布。

[令和4年度] 各地区の活動をまとめた事例集を社会福祉協議会と協働で作成し、地域の担い手や広く市民に取り組みを周知する予定。

※ボランティア団体等の活動紹介や交流を行う発表会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

社会福祉協議会の実施内容

◇地域の課題解決に向けた独自取り組みへの支援

[令和3年度] 地区社協単位での福祉員研修会は、新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら実施。

◇マッチング機能の充実と活動の場の確保

[令和4年度] 地区社協活動、福祉員活動を地域のボランティア活動の一つとして捉え、ボランティア活動を希望する方にマッチングを実施。

◇地区社会福祉協議会単位での福祉員活動の啓発と担い手づくりへの働きかけ

[令和4年度] 地区社協のあり方検討委員会を設置し、今後の地区社協活動の方向性などについて協議を行い、第3次地区社協活動推進計画を策定。

地区社協のあり方検討委員会

委員数	10名	委員会実施	3回	令和5年3月計画書作成予定
-----	-----	-------	----	---------------

(4) 社会参加の推進

【施策の方向性】自らも地域を支える担い手として役割を持ち、活躍できる機会を提供します。

市の実施内容

◆地域での活躍機会の提供 障害者支援課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
★障害者就労施設等からの物品・役務等の調達額 (単年度・市業務のみ・万円)	2,597	3,020	4,097

- ・県障害者芸術文化祭への出品呼びかけ、近隣の総合支援学校の児童生徒による作品の展示。
- ・県障害者スポーツ大会への参加呼びかけ、支援。
- ・通所就労施設利用者就労支援給付金を支給し、就労系施設に通所する障害者を経済的に支援。
- ・職場実習等支援給付金を支給し、障害者の就労促進のための職場実習等を支援。
- ・障害者が就労等に伴い、自動車運転免許を取得する際の取得に係る経費や、自動車を取得する場合の自動車の改造に要する経費の一部を助成。

◆相談窓口と支援制度の周知 障害者支援課

- ・障害者の支援のため、市発行の障害者福祉のしおりや市ホームページにて、相談窓口・支援機関を周知。

◆仲間づくり活動の支援 高齢者支援課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
老人クラブ運営費の補助(件数)	143	126	119
老人クラブ会員(人数)	5,442	4,688	4,218

社会福祉協議会の実施内容

◇ふれあい・いきいきサロンを通じた交流の促進と生きがいづくり

【令和3年度】各サロンで感染対策を講じながら、年度の後半にかけて徐々に活動を再開。市内31地区社協を訪問し、ふれあい・いきいきサロン担い手懇談会を実施し、サロン活動の把握と課題の聞き取りを実施。

【令和4年度】ふれあい・いきいきサロン担い手講座を4支部ごとに開催し、サロンの運営を支援。

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
ふれあい・いきいきサロン担い手講座参加者(人数)	177	—	106

◇地域社会で活躍できる場づくりの推進と社会参加の促進

【令和4年度】高校生ボランティアサマースクール、ボランティア初任者講座を開催。

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
高校生ボランティアサマースクール参加者(人数)	30	—	6
ボランティア初任者講座参加者(人数)	88	—	17

※ボランティア初任者講座は、令和元年度は「周南3市災害ボランティア講座」として開催

【基本目標3】自分らしい生き方を支える仕組みづくり

(1) 相談体制の充実

【施策の方向性】 分野や世代を超えた相談支援体制や多機関連携による課題解決の取り組みを推進します。

市の実施内容

◆「もやいネットセンター」の取り組み

地域福祉課

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
平日時間中相談受付（件数）	3,050	3,070	3,212
夜間相談受付（件数）	96	117	102

- ・「もやいネットセンター」（福祉総合相談窓口）の普及・啓発

【令和4年度】 周南公立大学での出前講座や、民生委員・児童委員の研修会などで周知。

市ホームページへの掲載・総合支所、支所、市民センターにチラシの配置。

◆高齢者虐待の取り組み

地域福祉課

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
在宅での高齢者虐待通報（件数）	9	21	34
施設での高齢者虐待通報（件数）	0	3	9

- ・市と地域包括支援センター関係職員の研修の実施、定期的部会の開催。
- ・高齢者虐待防止リーフレットの作成・配布。
- ・多機関連携による支援。

◆「こども・子育て相談センター」の取り組み

あんしん子育て室

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
児童相談対応（件数）	417	516	700
うち虐待対応（件数）	38	137	200

社会福祉協議会の実施内容

◇生活困窮者自立支援事業の充実

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
相談件数（人数）	2,586	2,369	1,432
（件数）	9,432	5,531	3,329

【令和3年度】 新型コロナウイルス感染症の影響下において経済的な課題を抱える方が増加する中、自立相談支援センターでは生活困窮者の相談に応じ、就労支援や家計改善等の事業の一体的取組を実施。

【令和4年度】 各相談窓口の機能強化のため、資格取得や研修を通じ職員の育成に努めるとともに、ケースを通じた関係機関との連携を強化。

◇成年後見制度利用促進

【令和3年度】 12月に周南市からの受託で、社会福祉協議会内に成年後見支援センターを開設し、関係機関、団体等を中心に周知。

【令和4年度】 初期相談対応や福祉関係団体・事業所の研修会の場を活用した成年後見制度の紹介等の広報啓発を推進。（相談・問い合わせ件数：57件）

◇社会福祉法人地域公益活動推進協議会の取り組み

【令和4年度】 新型コロナウイルス感染症の影響下でもできる活動を模索した結果、生活困窮者、ひとり親家庭を対象にフードパントリーを実施。

（令和4年12月実施・43世帯に配布）

(2) 権利擁護の推進

〔施策の方向性〕 だれもが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、権利擁護支援に取り組みます。

市の実施内容

◆権利擁護のための支援

地域福祉課

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
★もやいネット支援事業者研修会の開催（累計受講者数）	40	231 (文書開催含む)	開催予定
市長による後見開始の審判の申し立て（件数）	0	11	13
本人や親族の申し立ての手続き支援（件数）	3	2	1
後見人の報酬助成（件数）	4	1	1

・成年後見制度など権利擁護について、ホームページ、チラシ配付などにより啓発。

◆「周南市成年後見制度利用促進計画」に沿った支援

地域福祉課

・同計画は別途会議を開催し、取り組みの状況についての確認を実施する予定。

社会福祉協議会の実施内容

◇地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）や成年後見制度に関する研修会

〔令和4年度〕 山口県地域福祉権利擁護事業周南地区研修会を開催。

市内福祉団体の総会や研修会等の場で、地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）や成年後見制度に関する制度概要や利用方法について説明。（「成年後見支援センター」の広報啓発活動の一環として実施。）（講師派遣：7件）

◇法人成年後見人受任事業の推進

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
社会福祉協議会による成年後見人受任（件数）	7	7	5
うち身上監護のみ（件数）	1	1	1
うち身上監護・財産管理（件数）	6	6	4

〔令和3年度〕 軽度の認知症高齢者や障害者（知的障害者・精神障害者）等の判断能力に不安のある人に対して、福祉サービスの利用援助や金銭管理等の支援。
判断能力に不安のある人の権利を擁護するため、社会福祉協議会が法人として成年後見人を受任して支援。

◇権利擁護のための周知活動

〔令和3年度〕 12月に、市と連携して成年後見制度の利用を促進する体制を確立することを目的として、**成年後見支援センター**を開設し、成年後見制度に関する初期相談対応や広報啓発を実施。

〔令和4年度〕 年度当初に地域福祉権利擁護事業が、**日常生活自立支援事業**に名称が変更になったことから、パンフレット等の改訂を行うとともに、広報紙やホームページを活用して市民や関係機関等に周知。

(3) 情報提供の充実

【施策の方向性】 情報を必要とする人に、新しい情報が分かりやすく伝わる情報発信を目指します。

市の実施内容

◆「広報しゅうなん」やSNSなどを活用した情報発信 地域福祉課・あんしん子育て室

・広報に、子育て世代に向け、子育て支援センター・子育てひろばの紹介記事を掲載。

【令和3年度】 広報に、「フレイル予防虎の巻」の記事を連載。

10月にケーブルテレビの市政情報番組で、「地域の中での支え合い活動」として生活体制支援整備事業や第2層協議体に関する内容を放映。

【令和4年度】 広報に、9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、認知症やその予防活動に関する記事を掲載。

10月にケーブルテレビの市政情報番組で、介護予防・フレイルに関する内容を放映。

◆子育て支援アプリを活用した情報発信 あんしん子育て室

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
母子手帳アプリ「はぴはぐ by 母子モ」の配信（登録者数）	2,360	1,449	1,947

◆音声・点字への対応促進 障害者支援課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
視覚障害者への文書発送時における音声コード化と点字シール貼付（市役所庁内における実施課数）	13	14	年度末調査予定

◆手話通訳ができる人材の確保 障害者支援課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
手話奉仕員養成講座の開催（受講者数）	21	20	17

◆身近に支援者がいなくても、生活に必要な情報を入手できる施策の検討 防災危機管理課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
防災ラジオの普及促進（台数）※（）内は累計	2,806 (2,806)	279 (3,806)	388 (4,194)

【令和4年度】 山口放送、山口朝日放送のデータ放送において、災害時の避難情報を公開。

社会福祉協議会の実施内容

◇ホームページの活用について

【令和3年度】 市社協ホームページをリニューアルし、閲覧者が地域福祉活動に関心を持ってもらえるよう、寄付やイベント、地区社協活動などの情報についてのページを作成。

【令和4年度】 ホームページ内に、各地区社協から発行される地区社協だよりを紹介するページを追加。

SNSを活用した情報発信の方法について話し合う検討会を社協内で立ち上げ、令和5年度からの実施に向け協議。

【基本目標 4】 必要な福祉サービスを受けられる体制づくり

(1) 包括的な福祉サービスの基本整備

〔施策の方向性〕 必要とする福祉サービスを受けられるよう、分野や世代を超えた支援体制の整備を目指します。

市の実施内容

◆地域の話し合いの場（協議体）設置・運営の支援

地域福祉課

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
★第2層協議体設置数（箇所数）	11	19	20

◆地域での支え合い

地域福祉課

〔令和3年度〕 地縁組織やボランティアグループなどが、ゴミ出し、居室の掃除等の生活援助を行う地域支え合い訪問介護に、2団体の新規登録。

軽体操やレクリエーション等の集いの場を行う地域支え合い通所介護に、3団体の新規登録。（現在3団体登録）

〔令和4年度〕 住民主体でサロンや通いの場への移動支援を行う地域支え合い移動支援に、1団体の新規登録。（現在1団体登録）

地域支え合い訪問介護に、1団体の新規登録。（現在3団体登録）

◆高齢、障害、子ども、生活困窮等の事業を一体的に運営できる体制の構築

地域福祉課

〔令和3年度〕 重層的支援体制整備事業移行準備として、事業概要や移行に向けた方針、スケジュールを作成。庁内研修の実施。

〔令和4年度〕 庁内関係各課と社会福祉協議会に包括化推進員を配置。

重層的支援体制整備事業移行検討ワーキングチームの検討会議を開催し、周南市版の支援フローを作成。

多機関協働による事例検討会の実施。

◆一般就労が困難な人への就労訓練や福祉的就労の場の提供

障害者支援課

- ・相談支援専門員同士が、事例検討を通じて学び合う相談支援会議を開催し、支援体制を強化。
- ・地域における相談支援の中核的役割を担う、基幹相談支援センターによる研修を実施。

◆「あ・うんネット周南」における包括的な支援の提供の検討と市民啓発

地域福祉課

〔令和3年度〕 「在宅療養・看取り」、「自立支援・介護予防」、「認知症」をテーマに3つのワーキンググループを設置し、多職種で、医療と介護の連携上のデータ分析や課題抽出を実施。

〔令和4年度〕 医療と介護の連携上の課題に対する具体策の検討や、多職種連携のための研修会を開催。

社会福祉協議会の実施内容

◇第2層協議体や地区社会福祉協議会での定期的な協議と継続的な支援

〔令和3年度〕 第2層協議体や地区社協にも定期的な情報提供や協議を行い、関係性を維持。

〔令和4年度〕 社協職員地区担当制を実施し、担当職員が地区の情報収集や課題発見を行い、地域住民との連携を強化。

(2) 支援が届きにくい人への対応

【施策の方向性】 必要な人に、必要な福祉サービスや支援が届く環境の整備を目指します。

市の実施内容

◆複合的課題への相談支援体制の強化 地域福祉課

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
「もやいネットセンター」における8050世帯に関する相談（件数）	—	55	27

◆ひきこもり状態にある人の支援 地域福祉課

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
「もやいネットセンター」におけるひきこもり世帯に関する相談（件数）	26	27	30

◆「周南市再犯防止推進計画」の推進 地域福祉課

- ・同計画は別途会議を開催し、取り組みの状況についての確認を実施する予定。

社会福祉協議会の実施内容

◇家計改善支援事業・就労準備支援事業

- ・仕事や生活等に困っている方を対象として相談者一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、相談者に寄り添いながら、市や他の専門機関と連携して、解決に向けた伴走型の支援を実施。（令和元年8月から）

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
家計改善支援事業の実施（件数）	2	4	6
就労準備支援事業の実施（件数）	4	4	5

◇あんしん生活食料支援

- ・米や非常食を寄贈することで、生活に必要な食料が確保できなくなった生活困窮者の生活再建に向けて支援。

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
あんしん生活食料支援の実施（件数）	40	66	61

◇資金貸付金事業

- ・生活資金に困窮する低所得世帯等に資金貸付を実施。

※令和4年度は12月末時点

内容	令和元年度	令和3年度	令和4年度
資金貸付相談（件数）	695	3,384	803
自立支援金相談（件数）	—	564	413

【令和3年度】 新型コロナウイルス感染症生活困窮者に対する特例貸付に併せて、自立支援金窓口を開設し、世帯の自立更生に向けた支援を実施。

【令和4年度】 特例貸付新規申込終了後も自立支援金窓口を設置し、常用就職等につながるよう支援を実施。